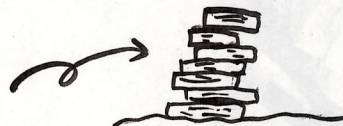


「43」…この数字は何でしょうか。これは、「100冊プロジェクトの進行状況」です。この夏休み、新たに14冊の本と出会いました。どれも素敵だったのですが…。1、2、3、4、5、6、7、8月。8か月で43冊。1か月に5冊程度。これはまずいです。あと4か月で57冊。大ピンチですね。でも、くよくよしている暇はありません。ここに、改善のチャンスがあるはず。意識を向ければ、情報が目に入るものです。

そのカギになるかは分かりませんが、実はある謎があります。それは「積ん読(つんどく)」という言葉の正体です。SNS上で投稿されているのを見つけましたが、言葉の意味が分かりません。「積んである本を読む」「本を積んで、自分にプレッシャーをかけて読む」…いろいろ考えてみました。しかし、これでは、今の自分と同じです。それで、読書が進んでいないから困っているのだ。(-_-)

それでも続けました。…強烈に続けていたら、神様がヒントをくれました。毎週送られてくる【鴨め〜る】というメルマガです。週1回のわりに、あまり読んでいないのですが、久しぶりに読んでみると、こんなことが書かれていました。

積ん読とは読んでいない本を積んでおくこと!



私の考えも、かなり近かったのです。しかし、困りました。解決になりません。私が知りたいのは、

いったい、その大量の本を、どうやって読み切るのか!

ということです。小さな怒りの感情をもって読み進めると…書いてありました!!!!

『**読まない箇所を 意識して読む**』ことが基本原理だと!!!

なるほど。…全く意味が分かりません。(ˆoˆ)

本を読みたいのに、「本を読むな」ということでしょうか???

この時点で、私のイライラはかなり上昇しています。さらに読んでいくと…

コアメッセージは、その本全体の 4~11%である!

コアメッセージとは、「一番伝えたいこと」です。つまり、「それを読めば、ほかはいらない」ということだそうです。その部分を「意識して読み」、その他の部分を、「意識して読まない」ことが大切とのこと。やっと謎が解けました。(ˆoˆ*)

そして、この「読むところと読まないところを、意識して分ける」ことが**今の時代、とっても大切な力**を育むそうです。それは…また今度紹介しますね。

これで悩みもすっきり読書ができる…と思いきや、この読書法は

小説など、じっくり味わって読むときには使えない

という落とし穴がありました。そして、幸運なことに、私のこの夏のテーマは「**歴史と文学**」でした。知っても、あまり意味ありませんでした。しっかり、味わって読みました(ˆ▽ˆ*)さて、あと57冊、頑張ります!!!